

I 地域情報化の推進活動

国、長崎県をはじめ、市町村、各種団体等と地元企業が協力・提携しながら、課題解決に向けた取組みや施策への提案を行い、県・市事業へ参画し成果が出ている。

また、国内外の情報サービスに関わる情報やデータを収集し、会員企業及び地域情報サービス産業の発展に役立つよう活動した。

I・1 長崎県次世代情報産業クラスター協議会への参加（登録会員 223 社、内 NISA 会員 52 社）

会長 瀨本 浩邦(株)不動技研工業 代表取締役会長)、副会長 大神 吉史(大新技研(株)代表取締役)が就任。ロボットやIoTに代表される第四次産業革命の技術については、社会への急速な普及が進んでいるが、県ではこの流れを的確に捉え、高度専門人材の育成や県内企業間の連携促進を目的とした「長崎県次世代情報産業クラスター協議会」が設立された(設立:2018 (H30)年 5 月 9 日)

(1)目的

県内のロボット、IoT、組込み関連産業の高度人材の育成や、これらの先端技術を提供する企業と活用する県内企業とのマッチング等によって、技術の活用を促進するとともに、事業拡大や新たなサービスの創出等につなげ、県外 需要の獲得や生産性の向上、付加価値の向上等を図ることを目的とする。

(2)事業

協議会では、前項の目的を達成するため、長崎県が実施する次の事業に参画する。

- ・ロボット・IoT等の分野における高度専門人材の育成
- ・普及啓発セミナー、導入企業向け基礎講習会等の開催
- ・製品・サービス等の開発による事業化のためのマッチングと伴走型支援の実施
- ・開発実証に係る外部資金等の獲得支援及び補助金による支援

(3)会員

NISA 会員および、長崎県内製造業企業などが会員登録。オブザーバー登録 12 機関、会員登録数 223 社(2026-6-9 時点)、内、NISA 会員は 52 社が登録。

(4)主な活動項目(詳細は NISA-HP 「お知らせ欄」に掲載)

- ・県クラスター協議会からの情報をNISAホームページに掲載し、会員メールでお知らせした。
- ・協議会へのNISA会員の登録を推奨中。(登録料は無料)

I・2 長崎県サイバーセキュリティに関する相互協力協定(長崎県警察本部)への参加（会員登録）

サイバー犯罪、サイバーテロの増加、インターネット上の違法・有害情報の氾濫、コンピュータウィルスの蔓延が社会問題となり、サイバー空間に対する県民の不安感も急速に高まっている中で、本協定は、社会全体で効果的なサイバーセキュリティ対策を推進することにより安全安心なサイバー空間の実現を目指すものである。

(1)目的

この協定は、協定機関の相互理解による高い信頼と協力関係に基づき安全安心なサイバー空間の実現を目指すことを目的とする。

(2)連携、協力の内容

協定機関は、前条の目的を達成するため、相互に連携、協力し、次の各号に掲げる事項を推進する。

- ①サイバー空間の脅威に関する情報の共有
- ②サイバー空間の脅威への対処に係る技術的支援
- ③サイバー空間の脅威に対処できる人材の育成
- ④サイバー空間の脅威に立ち向かう社会全体の意識の向上
- ⑤県警本部発行「サイバーセキュリティ通信」の HP 掲載と周知
- ⑥その他協定機関が必要と認めるサイバーセキュリティに関する事項

(3)協定参加機関(14 機関)

長崎県、長崎県警察、長崎県商工会議所連合会、長崎県商工会連合会、長崎県中小企業団体中央会、(公財)長崎県産業振興財団、西日本電信電話(株)、長崎支店、(株)ラック、トレンドマイクロ(株)、長崎大学、

長崎県立大学、長崎総合科学大学、佐世保工業高等専門学校、(一社)長崎県情報産業協会
長崎県医師会(2023/11/7 加入)、独立行政法人情報処理推進機構(2023/11/7 加入)

(4)活動

県警本部発行「サイバーセキュリティ通信」を NISA-HP に掲載した。

I・3 長崎県サイバーセキュリティ研究会(長崎県立大学) [2015(H27)年1月7日設立]への参加(会員登録)

(1)目的

長崎県内における情報関連産業のセキュリティ人材育成、会員相互間の情報共有を目的とする。

(2)事業の内容

前記の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ①情報共有のための研究会の開催
- ② 情報セキュリティに関するセミナー・イベントの開催
- ③ 県内でのセキュリティコンテスト等の開催
- ④ 県外でのセキュリティコンテスト等へ出場する学生等の支援
- ⑤ その他、本会の目的の達成に必要な事業

(3)「長崎県サイバーセキュリティ研究会」参加機関

[会員] 扇精光ソリューションズ(株)、オフィスメーション(株)、(株)亀山電機、佐世保工業高等専門学校、長崎県情報産業協会、長崎県立大学、長崎総合科学大学、長崎大学、ネット・ウォリアーズ、(株)ユースフル

[顧問] 元衆議議員 富岡 務氏

[オブザーバー] 長崎県情報政策課、長崎県学事振興課、長崎県新産業創造課

(4) 活動 (NISA参加)

開催日	場所	件名	議題
令和7年 12月2日(火)	長崎県立大学 シーボルト校 本部棟2F 特別会議室	令和7年度長崎県サイバーセキュリティ研究会総会 及び情報セキュリティセミナー開催 について	① 令和6年度事業報告書および収支決算 について ②令和7年度事業計画(案)及び収支予 算について ③その他(意見交換など)

I・4 NISA 情報セキュリティ部会

(一社)長崎県情報産業協会、長崎県、総務省九州総合通信局、経済産業省九州経済産業局、(一社)九州経済連合会、IPAの共催で「令和7年度サイバーセキュリティセミナーin 長崎」を開催した。

開催日	場所	件名	議題・講師
令和7年 9月3日(水)	ホテルセント ヒル長崎3階 「紫陽花の 間」&オンライ ン	①「中小企業のDX推進へ向 けた副業・兼業人材等の活 用促進について」 ②「課題解決に向けた人材戦略 の策定について」 ③「DX推進とサイバーセキュリ ティ対策」 ④「長崎県のサイバー被害の現 状について」 ⑤「長崎県のDX・サイバーセキ ュリティに関する施策紹介」	①AKKODiSコンサルティング(株) 地域共創推進部 笠原 鉄平氏 ②中小企業庁経営支援部経営支援課 課長補佐 岩田 祐輝氏 ③SC3 工場セキュリティ共創 SWG 主査 中野 利彦氏 ④長崎県警察本部サイバー犯罪対策課 サイバーセキュリティ対策補佐 渡邊蘭子氏 ⑤長崎県産業労働部新産業推進課 係長 井手 達郎氏

I・5 令和6年度中小企業サイバーセキュリティ促進事業(地域SECURITY形成促進事業)

令和2年(2020年)に長崎地域を対象とする経済産業省「中小企業サイバーセキュリティ対策促進事業(地域SECURITY形成促進事業)」を、みずほ情報総研株式会社より受託し長崎県地域におけるセミナーを開催し、アンケート調査を実施した。その後も引き続き、サイバーセキュリティ対策促進に関わる活動を継続してきた。全国各地域でコミュニティ形成を促進し、地域SECURITYの取組をさらに推進するため地域間の情報共有や、共通課題の解決に向けた取組の検討・推進を行う為、IPAが事務局の「サプライチェーン・サイバーセキュリティ・コンソーシアム(SC3)」が設立され団体会員に登録した。

その後、SC3総会、地域SECURITY形成促進ワークショップ等へ参加した。当協会の活動は、事業推進

団体として経済産業省「地域 SECURITY マップ」に登録されており、継続活動中。

- ・2023 年 6 月 29 日(木) 第 1 回 WS 参加。(Microsoft Teams によるオンライン方式)
- ・2024 年 2 月 20 日(火) 第 2 回 WS 参加。(Microsoft Teams によるオンライン方式)
(オンライン参加:SC3 長崎県キーパーソン:NISA松尾隆宏理事[扇精光ソリューションズ(株)、事務局])
- ・2024 年 9 月 24 日(火) SC3 向上セキュリティ共創 SWG セミナー(オンライン参加)
- ・2024 年 11 月 11 日(月) 令和 6 年度 SC3 総会(書面開催)、表決書提出、会員 3 で登録
- ・2026 年 3 月 11 日(水) 地域 SECURITY 連絡会開催(オンライン参加)

I・6 IPA 第 21 回「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール 2025」会長賞選定・賞状授与

インターネットの安全利用への注意はさらに重要になっていると考えられることから、IPA が主催し、全国の小学生、中学生、高校生の作品制作を通して、インターネットの安全利用を意識することを目的として、2025 年度 21 回目のコンクールが独立行政法人情報処理推進機構(IPA)主催で実施された。昨年同様に後援し、優秀賞として下記 5 点を「長崎県情報産業協会・会長賞」を下記 5 点選定し、表彰状を贈呈した。

- ・標語部門 「それワナかも」 荻島 ひかりさん (長崎県立諫早商業高等学校 2 年)
- ・「悪魔ののぞき見」 山川 あいりさん (長崎県立諫早商業高等学校 2 年)
- ・「多要素認証でセキュリティを」 本村 奏紫さん (長崎県立諫早商業高等学校 2 年)
- ・「使いまわし禁止」 山下 紗依さん (長崎県立諫早商業高等学校 3 年)
- ・「とられるぞ」 久家 司さん (長崎県立諫早商業高等学校 2 年)

I・7 長崎県中小企業団体中央会関連

令和 7 年度中小企業景況調査報告(第 1 四半期～第 4 四半期)を代表会員 4 社により実施した。

第 1 四半期(R07 年 04～06 月期)	第 2 四半期(R07 年 07～09 月期)
第 3 四半期(R07 年 10～12 月期)	第 4 四半期(R07 年 01～03 月期)

II 交 流 事 業

II・1 他団体・大学等との交流事業(敬称略)

(1) 第 46 回 全情連大会「ANIA 宮崎大会」(2025 年 10 月 2 日(木)・3 日(金))

一般社団法人全国地域情報産業団体連合会(略称:ANIA)では、地域情報産業の発展や取引拡大に向けた情報交流等を行うことを目的に、毎年各地域の情報産業団体と共催で全国大会を開催している。

2025 年度は宮崎大会がリアルで開催された。長崎大会は、8 年前(2017 年)に開催した。

- ・(2017 年)平成 29 年度 第 39 回 長崎大会(ホテルニュー長崎)
- ・(2018 年)平成 30 年度 第 40 回 青森大会(ホテル青森)
- ・(2019 年)令和 元年度 第 41 回 北海道(札幌)大会(札幌グランドホテル)
- ・(2020 年)令和 2 年度 第 42 回 山梨大会(コロナウイルス対策の為、開催見送り) →延期
- ・(2021 年)令和 3 年度 第 42 回 京都大会(オンライン講演会、コロナ対策でWEB開催)
- ・(2022 年)令和 4 年度 第 43 回 京都大会、リアルで開催(NISAより 5 名参加)
- ・(2023 年)令和 5 年度 第 44 回 福岡大会(NISA より 7 名参加)
- ・(2024 年)令和 6 年度 第 45 回 山梨大会(NISA より 6 名参加)
- ・(2025 年)令和 7 年度 第 46 回 宮崎大会(NISA より 7 名参加)

※(2026 年)令和 8 年度は、10 月 13 日(火)、14 日(水)に第 47 回 東京大会が開催される予定。

(2) 令和 7 年 ANIA-IT 連盟 合同新春交歓会、及び懇親会

- ・日時 令和 7 年 2 月 9 日(月) 18:00～19:30
- ・ANIA(全国地域情報産業団体連合会)と、IT 連(日本 IT 団体連盟)の共催による「合同新春交歓会」へ NISA より 3 名出席した。本会議と併せて、ANIA 理事会、及び ANIA 事務局長会議が開催された。
- ・会場 ホテルグランドアーク半蔵門 華の間 (東京都千代田区隼町 1-1)
- ・ANIA 長谷川会長、日本 IT 連盟川邊会長の挨拶他

(3) ANIA 理事会 NISA 濱本会長(ANIA 理事)出席

No.	日 時	場 所	出 席	議 題 ・その他
第 1 回	R7-4-17(木) 16:00～17:30	京都情報大学院 (オンライン会議 ZOOM)	理事 8 名 監事 1 名 濱本会長(ANIA 理事) 事務局長(オブザーバー)	・2024 年度事業報告書案及び収支報告書案について ・相互協力会員(MCPC)新入会について ・大阪万博見学会と事務局会議開催 ・APPLIC の理事選出について ・2025 年度定時総会について ・第 46 回全情連宮崎大会について
第 2 回	R7-7-3(木) 15:40～15:50	同上	理事 9 名 監事 2 名 濱本会長(ANIA 理事) 事務局長(オブザーバー)	・正副会長の互選について ・大阪万博見学会と事務局会議開催について
第 3 回	R7-10-2(木) 11:30～12:00	宮崎観光ホテル 東館 2 階 日向	理事 9 名 監事 2 名 濱本会長(ANIA 理事) 事務局長(オブザーバー)	・第 47 回全国大会(東京)の実施について ・ANIA 部会長の設置、選出について ・政策要望について ・会員向け情報配信について
第 4 回	R8-2-9(月) 16:00～17:30	ホテルグランドアーク 半蔵門	理事 8 名、監事 1 名 濱本会長 事務局長(オブザーバー)	・2026 年度事業計画及び予算案について ・2026 年度定時総会及び講演会について ・2026 年度第 1 回理事会について ・定款の変更について

(4) ANIA 事務局長会議 NISA 事務局長出席

No.	日 時	場 所	出 席	議 題
第 1 回	R07-5-27(火) 14:00～15:30	大阪トヨペットエン タープライズ貸会 議室 9 階 会議室 A(オンライン会議 ZOOM)	ANIA 各事務局長 14 名 +ANIA 事務局 2 名 (出席:NISA 事務局長)	・各協会からの近況報告、意見交換 ・今年度の活動と運用上の整理
第 2 回	R07-10-2 (木) 10:30～11:00	宮崎観光ホテル東 館2階 日向	ANIA 各事務局長 10 名 +ANIA 事務局 2 名 (出席:NISA 事務局長)	・各協会からの近況報告、意見交換 ・事例紹介:DX 認定について ・今年度の活動、今後の予定
第 3 回	R08-2-10 (火) 10:00～12:00	八重洲倶楽部 第 7 会議室	ANIA 各事務局長 16 名 +ANIA 事務局 3 名 (出席:NISA 事務局長)	・各協会からの近況報告、意見交換 ・全情連東京大会について ・CEATEC 概要説明

II・2 長崎県工業技術センターとの意見交換会(研究キャラバン)

県工業技術センターの研究成果の説明、また技術交流の強化の為、意見交換会を開催した。

(1)日時: R7-12-18(木) 16:00～17:00

(2)場所: 出島交流会館 9 階 展示交流室(長崎市出島町 2-11)

(3)次第(敬称略): [会場出席+WEB 出席]

①挨拶: NISA 会長 濱本 浩邦、工業技術センター 所長 野中 一洋

②工業技術センターの活動紹介: 工業技術センター所長 野中 一洋

③技術支援に係るトピックスの紹介: 工業技術センター機械加工科長 小楠 進一

④長崎県産業振興財団からの情報提供

・長崎県産業振興財団 研究開発支援室 チーフマネージャー 上野 忍

・長崎県産業振興財団 研究開発支援室 ファンド相談員 水島 晴信

⑤意見交換会(敬称略): (NISA 役員、会員との意見交換)

・長崎県産業労働部 新産業推進課 課長補佐 坊上 英樹、井手 達郎

・工業技術センター(野中 一洋所長、市瀬 英明部長、環境課長 入江 直樹、環境科長 小楠 進一、兵頭 竜二主任研究員、西村 学主任研究員、山口 将生研究員)

・長崎県産業振興財団(研究開発支援室) 上野 忍、水島 晴信

II・3 通常総会・講演会・産学官交流会

(1) 第32回通常総会 R07-6-27(木) オンライン併用による開催とし、全会員へ議案書を配布した。

(1)-1. 通常総会 14:00～14:50

①出席会員数：正会員出席 79社中、出席 72社(会場 34社、WEB7社、委任状 31社)が出席
(出席率 91.1%)、出席者半数以上で総会が成立し、全議案が承認された。

②議案

- 1) 第1号議案 議事録署名人の選任の件
- 2) 第2号議案 令和6年度活動報告の件
令和6年度決算報告承認の件
- 3) 第3号議案 理事交代の件

③報告事項

令和7年度事業計画及び収支予算の件

(2) わが社の一押し発表(2社)

詳細は下記、「II-4. わが社の一押し発表」を参照。

(3) 特別講演

- 1) 演題：『地方企業の成長戦略～物事の本質を理解する～』
- 2) 講師：PINCH HITTER JAPAN 株式会社 代表取締役社長 吉岡 拓哉氏

(4) 産学官交流会 18:00～20:00

1) 参加者：92名(会員 68名、会員外 24名)

(2) 新春講演会 R8-1-22(水) オンライン併用開催。

(1) わが社の一押し発表(2社)

詳細は下記、「II-4. わが社の一押し発表」を参照。

(2) 特別講演

- 1) 演題：『長崎未来共創プロジェクト(仮想)構想 ～住んでよし働いてよしの魅力的な県づくりを目指して～』
- 2) 講師：長崎県立大学 理事長 坂口 克彦氏

(3) 産学官交流会 18:00～20:00

1) 参加者：93名(会員 62名、会員外 31名)

II・4 わが社の一押し発表

会員の優れた製品・システム・技術・管理手法など、特徴あるものを紹介して、会員間のコラボレーションを深めることを目的とする。交流委員会で担当し、下記の通り開催した。

通常総会時 R07-6-27(木)	①	会 員	SCSK ニアショアシステムズ(株)
		テーマ	エンゲージメント強化の取組みについて
		発表者	代表取締役社長 中島 英也 様
	②	会 員	扇精光ソリューションズ(株)
		テーマ	測量DX教育プログラム CREATED IN FORTNITE
		発表者	空間情報開発課 課長代理 高橋 龍太郎 様

新春講演会 R08-1-22(水)	①	会 員	鎮西学院大学
		テーマ	産学官で切り拓く未来、鎮西学院大学の DX 人材モデル
		発表者	鎮西学院大学 総合社会学部 教授 丸山 幸宏 様
	②	会 員	Enagic(株)
		テーマ	空き家問題を希望に変える民泊ビジネスとは？
		発表者	Enagic(株) 事業開発・営業責任者 杉原 光都 様

II・5 ビジネスコラボ会開催

会員相互間の懇親を図り、ビジネスのコラボレーションが進むことを目的として下記の通り開催した。

開催日時	開催場所	参加者
(1) R07- 4-24(木) 18:00～20:00	居酒屋まろう	15名

(2) R07- 6-27(木) 18:00～20:00	ホテルセントヒル長崎 妙見の間	92 名
(3) R07- 7-17(木) 18:00～20:00	佐世保ワシントンホテル 1階レストラン「桜川」	17 名
(4) R07-10-23(木) 18:00～20:00	銅座 呑(ドン)	17 名
(5) R07-12-18(木) 18:00～20:00	長崎炉ばた はち舎(はちや)	21 名
(6) R08- 1-22(木) 18:00～20:00	ホテルセントヒル長崎 妙見の間	87 名

Ⅲ 研修事業

Ⅲ・1 研修事業

(1)NISA-IT 技樹研修(長崎県後援)

平成 19(2007)年に(株)長崎ソフトウェアセンターの解散により、地元で就業者研修ができなくなり、長崎県のご支援により、平成 20(2008)年より、当協会主催で研修事業を開始した。本研修は協会会員様のご賛同を得て人材育成の一端を担うことができた。令和 7 年度は、講座数を 21 講座としたが、受講希望者が少なかった 7 講座を中止し、14 講座を開催した。年間受講者数は合計 96 名であり、1 講座当たりの平均は 6.8 名であった。尚、中止した 7 講座の受講申込み者が 10 名あったが、是非、次年度の受講をお願いしたい。本事業は、研修委員会各位のご尽力と会員の皆様のご理解、ご協力によって運営することができた。

2025(令和 7)年度 NISA-IT 技術研修 開催実績							
No.	実施月	開催日	研修科目名・講座名	会場	社数	人数	備考
01s	6 月	6 月 11 日～ 6 月 13 日	AWS によるサーバレスシステム構築演習	D	4	13	開催済
02s	7 月	7 月 2 日～ 7 月 3 日	主体的な人を育てるビジネスコーチング研修	I	1	*1	中止
03j	7 月	7 月 10 日～ 7 月 11 日	システム要件定義の基礎	I	1	*1	中止
04j	7 月	7 月 24 日～ 7 月 25 日	Windows Server の基礎	I	4	6	開催済
05s	7 月	7 月 30 日～ 8 月 1 日	Python と Docker ではじめる Web アプリ開発&運用入門	D	4	6	開催済
06j	8 月	8 月 7 日～ 8 月 8 日	実習で学ぶ 3 層 Web システム入門(Web/AP/DB)	D	5	10	開催済
07a	8 月	8 月 27 日～ 8 月 29 日	ソフトウェア開発者のための対人対応力強化講座 ロジカル THINK' & ロジカルシンキング コース	N	1	*2	中止
08j	9 月	9 月 4 日～ 9 月 5 日	情報セキュリティ対策実践 基礎から学ぶセキュア環境構 築・運用入門編	N	1	*1	中止
09s	9 月	9 月 10 日～ 9 月 12 日	ChatGPT を活用したドキュメンテーション研修	D	3	6	開催済
10j	9 月	9 月 25 日～ 9 月 26 日	Windows Server の応用 ～Active Directory～	D	6	7	開催済
11s	10 月	10 月 1 日～ 10 月 3 日	Python&Excel で業務活用研修	D	1	*2	中止
12j	10 月	10 月 9 日～ 10 月 10 日	システム設計 実践トレーニング【※1/29-30 へ日程変更】	D	3	*3	(日程変更)
13a	10 月	10 月 16 日～ 10 月 17 日	ケースに学ぶ IT プロジェクトにおけるリスクマネジメント	N	0	*0	中止
14a	10 月	10 月 29 日～ 10 月 31 日	ソフトウェア開発のためのモデリングと UI 設計	D	4	7	開催済
15s	11 月	11 月 6 日～ 11 月 7 日	チームリーダーのための人に教える技術	I	5	7	開催済
16j	11 月	11 月 13 日～ 11 月 14 日	アプリケーションテスト実践トレーニング	D	4	5	開催済
17j	11 月	11 月 26 日～ 11 月 28 日	C#による Visual Studio を使用した Web アプリの開発 (.NET Core+MVC 基礎編) 【※2/4-6 へ日程変更】	D	2	*4	(日程変更)
18s	12 月	12 月 4 日～ 12 月 5 日	生成 AI と学ぶビジネスデータ分析	D	3	5	開催済
19j	12 月	12 月 11 日～ 12 月 12 日	ネットワークの基礎ステップアップ運用編 ～通信解析&ログ監視～	D	6	9	開催済
20s	1 月	1 月 14 日～ 1 月 15 日	職場を動かす中堅リーダーシップ	N	5	6	開催済
12j	1 月	1 月 29 日～ 1 月 30 日	システム設計 実践トレーニング 【※日程変更分】	D	2	3	中止

17j	11月	2月4日～ 2月6日	C#による Visual Studio を使用した Web アプリの開発 (.NET Core+MVC 基礎編) 【※日程変更分】	D	2	4	開催済
21a	2月	2月25日～ 2月27日	エンジニアのスキルを徹底活用するための書き方・話し方	N	3	5	開催済
会場： N：(NISA 研修室)、D：(出島交流会館)、I：(石井会計事務所) (計画 21 講座中、14 講座実施、7 講座中止、平均 6.8 人) 受講者数合計(中止分を除く) →							96

(2)一般事業者向け「経営者と担当者のための DX・ICT 講座」

2025(令和 7)年度「長崎県デジタル力向上支援事業費補助金」を活用できる講座として、一昨年、昨年と同様、一般事業者向け講座「経営者と担当者のための DX・ICT 講座」を開催した。7月、8月、9月、10月、11月、12月に各 1 講座を開催し年間 6 講座を実施した。合計受講者数実績は 112 名(109 社)であった。

「経営者と担当者のための DX・ICT 講座」受講実績：合計 112 名(109 社)

【NA1】(6 月度は、県の補助金採択が間に合わず中止とした)

【NA2】(7/15 開催) 受講者 18 名

【NA3】(8/21 開催) 受講者 20 名

【NA4】(9/18 開催) 受講者 20 名

【NA5】(10/21 開催) 受講者 19 名

【NA6】(11/18 開催) 受講者 14 名

【NA7】(12/16 開催) 受講者 21 名

Ⅲ・2 新入社員向け IT 技術者研修を実施(「研修事業」)(敬称略)

(株)エンベックスエデュケーションとタイアップし、厚労省「人材開発支援助成金(特定認定実習併用職業訓練コース)を適用して 2025(R07)年度の新入社員研修を 35 名(長崎：9 名、佐世保：19 名、諫早：7 名)で実施した。助成金制度の活用により、本研修の費用負担を軽減でき、IT 技術、ヒューマンスキル、社会人マナーの習得により人材育成を図った。

項目	内 容
講 座	C#.NET エンジニア養成コース
期 間	長崎会場：2025/4/4(金)～6/3(火) (40 日間) 佐世保会場：2025/4/3(木)～6/2(月) (40 日間) 諫早会場：2025/5/13(月)～7/ 3(水) (40 日間)
会 場	長崎会場：ポナールビル(4 階 404-1 号室) 佐世保会場：交通会館(4 階会議室) 諫早会場：システック井上 諫早事業所 会議室
講 師	長崎会場：エンベックス人材育成本部 太田 陽太郎氏 佐世保会場：エンベックス人材育成本部 伊澤 剛氏 (サブ講師) 高橋 航生氏 諫早会場：エンベックス人材育成本部 片岡 美千代氏
受講者	長崎会場：4 社 9 名 佐世保会場：3 社 19 名 諫早会場：1 社 7 名 合計 8 社 35 名

Ⅲ・3 iCD(アイコンピテンシディクショナリ)活動(中小企業向け IT スキル標準、一般社団法人 iCD 協会)

「i コンピテンシ ディクショナリ」(以下、iCD)は、企業において IT を利活用するビジネスに求められる業務(タスク)と、それを支える IT 人材の能力や素養(スキル)を「タスクディクショナリ」、「スキルディクショナリ」として体系化したもので、企業は経営戦略などの目的に応じた人材育成に利用することができる。本システムの活用を通じて、人材育成戦略の立案(Plan)、育成施策の実行(Do)、自組織のリソース状況の把握(Check)、目標の再設定(Act)といった組織における人材育成の PDCA サイクルを回す活動の一助となることが期待される。H26、H27 年に「i CD ワークショップ」を長崎で開催し、会員 6 社(オフィスメーション(株)、(株)NDKCOM、不動技研工業(株)、(株)イシマル、NBC 情報システム(株)、扇精光ソリューションズ(株))が参加した。その後の活動を通して i CD 活用企業認定では、企業での iCD の活用レベルや成果の大きさに応じた認証レベルの Silver Plus 3 社、Silver 3 社となった。NISA は、iCD 協会の賛助会員(団体認証)として登録。

尚、推進母体 IPA から新たに設立された「(一社)iCD 協会(iCDA)」が普及・ワークショップ活動を実施した。

(1)活動を推進する為の情報交換会

令和7年度は、対面とオンライン(ZOOM)のハイブリッド形式で「iCD ユーザー会」が開催された。
iCD 協会が取り組んでいる施策や活動方針などを紹介。

情報交換会	開催日時	開催場所
WEB 第1(43)回 iCD ユーザー会	2025- 5-23 15:00～17:00	ハイブリッド開催
WEB 第2(44)回 iCD ユーザー会	2025- 6-18 15:00～17:00	ハイブリッド開催
WEB 第3(45)回 iCD ユーザー会	2025- 9- 3 15:00～17:00	ハイブリッド開催
WEB 第4(46)回 iCD ユーザー会	2025-10-21 15:00～17:00	ハイブリッド開催
WEB 第5(47)回 iCD ユーザー会	2026- 2-18 15:00～17:00	ハイブリッド開催
WEB 第6(48)回 iCD ユーザー会	2026- 3- 6 15:00～17:00	ハイブリッド開催

IV 人材高度化能力開発事業(助成金受給支援事業)

H16 年度からキャリア形成促進事業を始め、H23 年度から成長分野等人材育成支援事業(奨励金)、また H25 年度には日本再生人材育成支援事業(奨励金)を実施したが、成長分野・日本再生(奨励金)制度は H25 年度に終了した。H26 年度から 28 年度は前制度を大きく改訂したキャリア形成促進事業を助成金受給支援事業として実施した。H29 年度からは、前制度が大幅改訂され「人材開発支援助成金」となった。H31 年度は改訂版を引続き適用し実施した。NISA 研修における研修事業と助成金・奨励金の活用を支援する事業は車の両輪であり、令和7年度研修の訓練計画書および支給申請書の提出を積極的に推奨し、書類提出の支援を行った。

※厚生労働省「人材開発支援助成金」制度の活用

IT分野は、技術の進歩が日進月歩であり、常に最新技術を修得することが、企業の将来を左右すると言われており、人材こそが IT 業界における重要な経営資源であると認識され、多くの企業がその育成に取り組んでおり、NISA 事務局は助成金申請の支援を継続して行っている。厚生労働省の人材開発支援助成金は、令和5年度に制度が見直され、それまで「特定訓練コース」と「一般訓練コース」であったものが、「人への投資促進コース」「人材育成支援コース」「事業展開等リスクリテリング支援コース」の3本建てとなった。訓練時間の要件については10時間以上(旧21時間以上)に変更された。また、生産性要件が廃止されて「賃金要件」と「資格等手当要件」が新設された。「賃金要件」と「資格等手当要件」のいずれかを満たした場合、別途申請を行うことで経費のプラス15%の加算分を追加受給できるようになった。

(1)人材開発支援助成金(厚生労働省)に係る計画届申請、支給申請のサポート

①計画届様式へ必須項目の記載

改訂に伴う申請様式等の変更に対し、NISA では訓練実施計画届様式に研修内容を分かりやすく記載し、作成時の注意点を労働局に問合せ・確認を行い申請時の支援として会員に連絡した。

②訓練実施計画届書のチェック支援(R05-4～)

- i) 人材開発支援助成金に関して、訓練計画届は研修・訓練開始の1カ月前までに提出する必要がある。
また訓練計画内容の変更(人数・受講者等)は訓練開始の前日までに「変更届」の提出が必要である。
- ii) 長崎労働局へ提出するが、「訓練計画実施届」であり認定ではない。
- iii) 保管必須書類として「事業内職業能力開発計画書」の作成要領書を作成し通知した。
- iv) 研修実施場所は、受講者数、インターネット接続環境等、研修内容により決定した。
- v) 「訓練実施計画届」「変更届」等共同チェックの支援を実施した。

③協会の研修事業維持、促進のため、研修受講に関わる補助金支給申請時の支援等の事務費として、補助金支給決定額の10%を納入していただいている。(新入社員研修等の認定実習併用職業訓練は1%)。

本件は、2009(平成21)年第16回通常総会において承認され実行中。

- i) 支給申請は「各訓練終了日の翌日から2か月以内」に申請書の提出が必須。
- ii) 共同チェックについては、年間を通して「各研修の終了から2か月以内」に実施した。支給申請時の共同チェックは、研修が終了次第順次実施した。

(2)申請時の留意点などをメールによる配信と対面・電話相談等でサポートした。

V 情報収集提供事業(「情報提供事業」)

政府をはじめ地方公共団体では、地域情報化に向けて、広く産業界および一般利用者への情報サービスの

向上や業務システムの最適・最新化を図るため、情報通信技術(ICT)化を推進する。更に産業構造変革による生産性向上を行うには、IoTの取込みが欠かせない。

これらの実現のためには、ICT化、およびAI・IoTに関わる政府をはじめ地方公共団体、および産学の実組の情報をいち早く収集して広く周知し、これを基に認識を深めまた知見を深めていくことが重要である。その収集・周知の一環として、地域や国内外の情報サービス産業に関わる情報をHP・メールにより広く提供し、会員企業、更に会員外企業の繁栄を目指して活動する。更には、自治体、各種団体等と連携・協力しながら、地域ICT化の取組みや施策の提案等を行う。(NISA ホームページを地域におけるICT関連ポータルサイト化とすべく推進)

(1)情報提供項目:2025年度掲載分(2025年4月1日～2026年3月31日) 合計 607 件

1) 会員専用情報(会員・役員).....	47 件
2) 加入団体(ANIA・JISA)情報.....	148 件
3) 政府(総務省、経産省、厚労省)情報.....	282 件
4) 自治体(長崎県、長崎市、他)情報.....	59 件
5) 関連団体(中央会・工業会・他)情報.....	9 件
6) 研修、講座、セミナー情報.....	43 件
7) その他情報.....	19 件

情報源として、一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)、一般社団法人全国地域情報産業団体連合会(ANIA)、総務省九州総合通信局、経済産業省九州経済産業局、厚生労働省、長崎県、長崎市、公益財団法人長崎県産業振興財団、長崎県工業技術センター、佐世保情報産業プラザ、長崎大学、長崎県立大学、長崎総合科学大学、佐世保工業高等専門学校、等からの情報をNISA ホームページ「お知らせ欄」に掲示すると共に重要な情報は会員宛てにメール配信し周知を図った。(詳細はNISA ホームページ参照)

VI 講演・セミナー事業

ICT化に関わる政府をはじめ地方自治体、産学及び団体が取組んでいる施策に関する情報を、産学官で共有し、その情報化に関する啓蒙普及の一環として、専門家を招聘し講演会・セミナーを開催した。

(1)事業

- ①開催回数:2回/年(サイバーセキュリティセミナー関係はP3、P4で報告)
- ①案内方法:県、市、大学、各種団体等、会員にチラシ配付、メール配信、および当法人のHPに掲載
- ②対象:会員および非会員(行政職員、大学職員、および各種団体職員)

(2)実施内容

- ①総会特別講演会.....R07-6-27(金) 16:00～17:30 Hセントヒル長崎 2階「妙見」
 - i)演題:地方企業の成長戦略～物事の本質を理解する～
 - ii)講師:PINCH HITTER JAPAN 株式会社 代表取締役社長 吉岡 拓哉氏
 - iii)概要:長崎県諫早市で2013年4月に創業し、13年目を迎えました。法人向け買取ビジネスを軸にグローバルに事業展開するまでの歩みを紹介。創業期の困難をどう乗り越え、地方でどのように人材採用・教育をして成長していったのか「本質的視点」の重要性などを紹介。
【企業理念】モットイナイを笑顔(価値)に変える
【行動指針】見つけて、伝えて、価値を生む
【主な事業】
 - (1)法人事業買取事業
 - (2)事業買取・売却事業
 - (3)マッチング型人材紹介サービス(N-biz)
 - (4)再流通・2024年7月4日:テレビ東京「カンブリア宮殿」に出演した。
- iv)聴講者:113名(会場参加93名、オンライン参加20名)
- ②新春講演会 R08-1-22(木) 16:00～17:30 Hセントヒル長崎 3階「紫陽花」
 - i)演題:『長崎未来共創プロジェクト(仮想)構想～住んでよし働いてよしの魅力的な県づくりを目指して～』

ii)講師 :長崎県立大学 理事長 坂口 克彦氏

iii)概要 : ■理事長として取り組みたいこと

- ・「学生の幸せ」と「教職員の方々の幸せ」を目指すことができる組織づくり。
- ・長崎県立大学が魅力的になること。
- ・長崎県が住んでよし、働いてよしの魅力的なまちづくりと企業づくりに貢献する。

■長崎県公立大学法人の課題と戦略について

- ・県外転出者の 80%は県内企業を検討しなかったと非常に多い。
- ・長崎県の人口流出問題は、働く意味と成長を感じられる職場が少ない。
- ・「経営者とマネージャーの質」こそが若者をつなぎとめる最後の砦。
- ・誇りとやりがい向上、職場環境・待遇改善でワークハッピー事業所へ。
- ・少子高齢化による労働力人口の減少、ミレニアル世代(デジタルネイティブ)の台頭。
- ・職場で仕事のやりがいを実感し、モチベーションが高まる要因(上位 3)
 - (1)仕事のインパクト、価値(76%)
 - (2)学習(59%)
 - (3)家族のような関係性(51%)
- ・Z 世代(ソーシャルネイティブ世代)は、世界人口の 3 分の 1 を占めている。

iv)聴講者 :102 名(会場参加 75 名、オンライン参加 27 名)

VII 令和 7 年度 長崎県 DX 推進事業とDX推進活動への協力

- (1)令和 7 年度は、県内事業者の DX 推進を目的とした「長崎県デジタル力向上支援事業費補助金」の公募に対して、コンソーシアムを設立し、DX支援及びサイバーセキュリティ強化に取り組む中小企業(汎用機 械器具製造業、食料品製造業)の中から採択された支援先(9 社)に対して、会員企業から、支援企業として、十八親和銀行、(株)リコージャパン、(株)LAplust が参加した。

VIII FISA(福岡県情報サービス産業協会)との連携協定

- (1).開催日 :2026 年 3 月 3 日(火) 15:00~17:30
- (2).会 場 :TKP ガーデンシティ博多新幹線口(4 階:4-A 会議室)
- (3).方 式 :会場+オンライン(Webex)のハイブリッド開催
- (4).参加者 :会場参加(44 名)+オンライン参加(30 名)=74 名
- (5).次 第 15:00~15:20 連携協定書調印式
- ・【NISA】長崎県情報産業協会 濱本 浩邦会長 挨拶
 - ・【FISA】福岡県情報サービス産業協会 平石 大助会長 挨拶
 - ・ご来賓挨拶 九州経済産業局 地域経済部デジタル経済室長 三小田 昌弘氏

IX 第 3 回九州・沖縄地区情報サービス産業団体意見交換会

- (1).開催日 :2026 年 3 月 9 日(月) 14:00~19:00
- (2).場 所 :ホテルクレストン鹿児島 2 階「フリージア」
- (3).次 第:
- ・開会挨拶: 鹿児島県情産協 久永 忠範会長
 - ・「経済産業省の DX 推進・サイバーセキュリティ施策について」
デジタル経済室長 三小田 昌弘氏、係長 中井 萌氏
 - ・(一社)鹿児島県情報セキュリティ協議会理事長 中村 洋氏
 - ・「AI 時代の地域セキュリティ戦略」九州大学 教授 小出 洋氏
 - ・意見交換会テーマ
 - (1)人材育成・採用について
 - (2)AI 活用(活用状況・課題)について
 - (3)セキュリティ対策(課題・関心事項)について

・開催履歴

第1回:福岡県情報サービス産業協会(2024.5.21 開催済)

第2回:熊本県情報サービス産業協会(2025.3.11 開催済)

第3回:鹿児島県情報サービス産業協会(2026.3.9 開催済)

第4回:(長崎県情報産業協会) 次回は、長崎県で開催予定

・懇親会 同ホテル2階 料亭「竹千代 本館」

X 理事会(役員会)

(1) 第1回 理事会(役員会) 2025-4-24(木) 16:00~17:00 於:出島交流会館9F交流室(WEB 併用)

・出席理事・監事:理事 15 名(会場 8 名, Web_6 名)、監事 1 名(Web_1 名)

【長崎県】産業労働部新産業推進課より 3 名出席(会場 3 名)され、

「令和 7 年度の長崎県の事業説明」を戴いた。

【議事】

1)定款変更により新設した会員区分「準会員」について

(有)永電エンジニアリングの「準会員」への移行承認について

2) 2025 年度通常総会の講演テーマの検討

3) 2025 年度通常総会「わが社の一押し」講演、発表企業の検討

4)「長崎市 DX 推進委員」の推薦について

5)新設した「特別会員」への入会承認について

長崎県立大学情報システム学部、長崎総合科学大学

(2) 第2回 理事会(役員会) 2025-5-23(木) 16:00~17:00 於:NISA 研修室(WEB 併用)

・出席理事・監事:理事 16 名(会場 4 名, Web_12 名)、監事 1 名(Web_1 名)

【議事】

1) Enagic 株式会社(エナジック)の「準会員」入会承認について

2) 長崎県工業技術センターの「特別会員」入会承認について

3) 国立佐世保高専の「特別会員」入会承認について

4) 2025 年度 通常総会「わが社の一押し」講演の講師と演題を承認

5) 2025 年度 通常総会の講演テーマ・講師(発表者)について承認

6) 2025 年度 通常総会の進行と体制について承認

(3) 第3回 理事会(役員会) 2025-6-27(木) 13:10~13:50 於:ホテルセントヒル長崎(WEB 併用)

・出席理事・監事:理事 15 名(会場 13 名、Web_2 名)、監事 1 名(会場 1 名)

【議事】

1) 正会員(株)LAplus(ラプラス)の「準会員」への移行承認について

2) 渡邊 哲之氏が理事退任と大家 学氏の理事就任の承認について

3)NISA 委員会の組織改正と会員の新委員会所属に係る承認について

4) 総会の進行と体制について

(4) 第4回 理事会(役員会) 2025-7-17(木) 16:00~17:00 於:佐世保ワシントンH・1F 桜川(WEB 併用)

・出席理事・監事:理事 15 名(会場 6 名, Web_9 名)、監事 2 名(会場_1 名、Web_1 名)

【議事】

1) 2025 年度 JISA 地域高度化事業に係る JISA 補助金申請の承認

2) (株)ウイズ・ワン の「正会員」入会承認 について

3) (株)エンベックスエデュケーションの「特別賛助会員」入会承認 について

4) 長崎大学 情報データ科学部の「特別会員」入会承認 について

(5) 第5回 理事会(役員会) 2025-8-19(木) 16:00~17:00 於:NISA 研修室(WEB 併用)

・出席理事・監事:理事 16 名(会場 10 名, Web_6 名)、監事 2 名(Web_2 名)

【議事】

1) FISAとの連携協定書(案)について質疑

(6) 第6回 理事会(役員会) 2025-9-18(木) 16:00~17:00 於:NISA 研修室(WEB 併用)

・出席理事・監事:理事 17 名(会場 6 名, Web_11 名)、監事 21 名(Web_2 名)

【議事】

1) 鎮西学院大学の「特別会員」入会承認 について

(7) 第7回 理事会(役員会) 2024-10-23(木) 16:00~17:00 於:出島交流会館(WEB 併用)

・出席理事・監事:理事 13 名(会場 4 名, Web_9 名)、監事 1 名(Web_1 名)

【議事】

1)「iCD カンファレンス 2025 冬」に係る後援名義使用承認について

2) 合同会社 future(フューチャー)の「準会員」加入承認について

(8) 第8回 理事会(役員会) 2025-11-20(木) 16:00~17:00 於:NISA 研修室(WEB 併用)

・出席理事・監事:理事 11 名(会場_4 名, Web_7 名)、監事 2 名(Web_2 名)

【議題】

1) (株)ノートンライフテックの「正会員」入会承認 について

2) FISAとの連携協定書(案)承認について

(9) 第 9 回 理事会(役員会) 2025-12-18(木) 15:00~15:50 於:出島交流会館 9F(WEB 併用)

・出席理事・監事:理事 14 名(会場 3 名, Web_11 名)、監事 2 名(会場 1 名、Web_1 名)

【議事】

1) エムオーテックス(株)の「正会員」加入承認について

2) 令和 8 年 1 月 22 日(木)に開催予定の「新春講演会・産学官交流会」の式進行要領を承認

※理事会終了後、長崎県工業技術センター様との意見交換会(研究キャラバン)を実施した

(10) 第 10 理事会(役員会) 2026-1-22(木) 14:00~14:25 於:ホテルセントヒル長崎 (WEB 併用)

・出席理事・監事:理事 14 名(会場 12 名, Web_2 名)、監事 2 名(会場 2 名)

【議事】

1) サンワシステム(株)の「準会員」入会承認 について

2) 新春講演会, 産学官交流会の式進行要領を承認

(11) 第 11 回 理事会(役員会) 2026-2-19(木) 16:00~17:00 於:NISA 研修室(WEB 併用)

・出席理事・監事:理事 13 名(会場 4 名, Web_9 名)、監事 1 名(Web_1 名)

【議事】

1) 2026 年度 役員会(理事会)開催予定日について承認

2) 2026 年度 NISA 研修の開催講座(20 講座)の詳細について承認

3) (株)LUMISEC 様の「準会員」加入承認について

(12) 第 12 回 役員会 2026-3-19(木) 16:00~17:00 於:NISA 研修室(WEB 併用)

・出席理事・監事:理事 15 名(会場 3 名, Web_12 名)、監事 1 名(Web_1 名)

【議事】

1) (株)ニーズウェル様の「正会員」加入承認について